

# 魚沼市地方創生に関する総合戦略

令和 8 (2026) 年度～令和 12 (2030) 年度





# 目 次

第1章 魚沼市地方創生に関する総合戦略について	1
1. これまでの経緯	1
2. 策定の趣旨	1
3. 計画期間	2
4. 魚沼市地方創生に関する総合戦略の位置づけ	2
5. 魚沼市地方創生に関する総合戦略の構成	4
第2章 基本理念と基本目標	5
1. 基本理念	5
2. 本戦略を推進するための基本的な考え方	5
3. 基本目標	6
4. 数値目標	7
第3章 施策の方向性と具体的取組	8
1. 施策の体系	8
2. 評価指標の設定	9
基本目標1 安心して働き、暮らせる生活環境の創生	10
(1) 子育て・教育環境の充実	10
(2) 働き方改革の推進	11
(3) 健康づくりと医療・福祉の充実	12
(4) 安全・安心で快適に暮らせるまちづくり	13
基本目標2 稼ぐ力を高め、付加価値創出型の新しい経済の創生	15
(1) 地域産業の振興と人材の育成・確保	15
(2) 安定した雇用の創出と地元就労の促進	17
(3) 持続可能な脱炭素社会の実現	18
基本目標3 人や企業の地方分散 ～都市との交流等による創生～	19
(1) 移住・定住の促進	19
(2) 地域資源をいかした交流拡大	19
基本目標4 新時代のインフラ整備とAI・デジタルなどの新技術の徹底活用による創生	21
(1) 暮らしや社会のデジタル化	21
基本目標5 広域連携による創生 ～広域リージョン連携に向けて～	22
(1) 広域連携の推進	22
《参考》 第三次魚沼市総合計画前期基本計画との関連	23



---

---

# 第 1 章 魚沼市地方創生に関する総合戦略について

---

---

## 1. これまでの経緯

我が国の人口は、2008(平成 20)年の 1 億 2,808 万人をピークに減少に転じており、2056(令和 38)年には 1 億人を割り込むことが見込まれています。人口減少社会では、経済規模の縮小や地域社会の機能低下等、様々な影響が懸念されます。特に過疎化が進む地方においては、若者の流出と高齢者の増加により、社会インフラの維持や地域経済の活性化等が困難になってきています。

このことから国では、人口減少に歯止めをかけるとともに、東京圏への過度の人口集中を是正し、それぞれの地域で住みよい環境を確保して、将来にわたって活力ある地域社会を維持していくことを目的として、2014(平成 26)年 11 月に「まち・ひと・しごと創生法」(平成 26 年法律第 136 号)(以下「法」という。)を制定しました。

また、同年 12 月には、「まち・ひと・しごと創生長期ビジョン」(以下「長期ビジョン」という。)を策定するとともに、法に基づき、5 か年の目標や施策の基本的方向等をまとめた、「第 1 期 まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定し、2019(令和元)年 12 月には、長期ビジョンを改訂し、「第 2 期 まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定しました。

さらに、国は、2022(令和 4)年 12 月に、「第 2 期 まち・ひと・しごと創生総合戦略」を抜本的に改訂し、2023(令和 5)年度を初年度とする 5 か年の「デジタル田園都市国家構想総合戦略」を新たに策定しました。

また、2025(令和 7)年 6 月には、2014(平成 26)年から開始された地方創生 10 年間(地方創生 1.0)の成果と反省を踏まえ、今後 10 年間を見据えた「地方創生 2.0 基本構想」を閣議決定し、同年 12 月には、「デジタル田園都市国家構想総合戦略(2023 改訂版)」を変更する形で、「地方創生に関する総合戦略～これまでの地方創生の取組のフォローアップと推進戦略」(以下「国の総合戦略」という。)を閣議決定しました。

## 2. 策定の趣旨

本市においては、2015(平成 27)年度に「魚沼市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定し、地方創生に向けた各種取組を推進してきました。

本市の人口については、国立社会保障・人口問題研究所の推計によると、2020(令和 2)年の国勢調査時点における 34,483 人から、2050(令和 32)年には約 18,400 人へと減少することが予測されています。

人口見通しについては、引き続き厳しいものになりますが、人口減少下でも成長することができる地域社会を目指す取組を推進するため、地方創生 2.0 基本構想や国の総合戦略を踏まえた「魚沼市地方創生に関する総合戦略」(以下「本戦略」という。)を策定するものです。

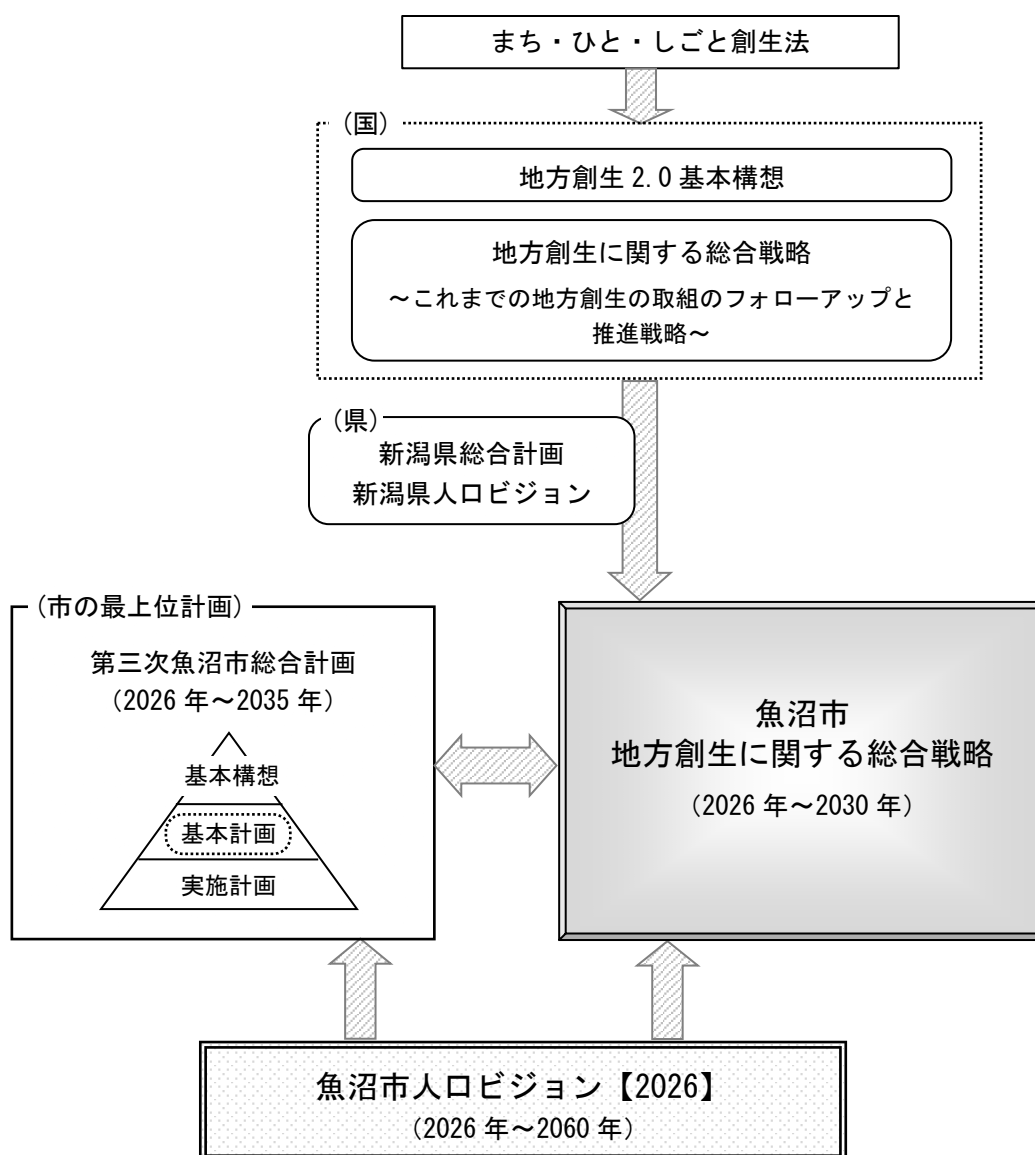
### 3. 計画期間

本戦略は、魚沼市総合計画と一体的に進めるため、第三次魚沼市総合計画前期基本計画(以下「前期基本計画」という。)の計画期間に合わせ、2026(令和8)年度から2030(令和12)年度までの5年間とします。

### 4. 魚沼市地方創生に関する総合戦略の位置づけ

本戦略の策定に当たっては、国や県の総合戦略との整合性や地方創生2.0基本構想を踏まえつつ、本市の最上位計画である「第三次魚沼市総合計画」と一体的に推進できるよう整合を図りながら、「強い」経済、「豊かな」生活環境、「新しい・楽しい」地域の実現を目指す総合戦略として策定するものです。

〔 魚沼市地方創生に関する総合戦略の位置づけ 〕



## 《参考》 地方創生 2.0 基本構想（概要）

### 【 地方創生 2.0 とは 】

「地方創生 2.0」は、単なる地域活性化策ではなく、我が国の活力を取り戻す経済政策であり、多様な幸せを実現するための社会政策であり、そして地域が持つ本来の価値や楽しさを再発見する営みです。

当面避けることのできない人口減少など我が国が直面する現実から目をそらすことなく、その目指す姿である、「強く」、「豊か」で「新しい・楽しい」地方・日本の実現に向けて取組を進めるものです。

### 【 基本姿勢・視点 】

- 人口減少を正面から受け止めた上での施策展開
- 若者や女性にも選ばれる地域づくり
- 異なる要素の連携と「新結合」
- AI・デジタルなどの新技術の徹底活用と社会実装
- 都市・地方の共生関係の強化と人材循環の促進
- 好事例の普遍化（点から面へ、地域の多様なステークホルダー<sup>1</sup>の連携）

### 【 政策の5本柱 】

#### ① 安心して働き、暮らせる地方の生活環境の創生

- ・日本中いかなる場所も若者や女性が安心して働き、暮らせる地域づくり
- ・地域コミュニティや日常生活に不可欠なサービスを維持するための拠点づくり
- ・意欲と能力のある「民」の力をいかし、人を惹きつける質の高いまちづくり
- ・災害から地方を守るための防災力の強化

#### ② 稼ぐ力を高め、付加価値創出型の新しい地方経済の創生

##### ～地方イノベーション<sup>2</sup>創生構想～

- ・地域のポテンシャルを最大限にいかし、多様な「新結合」で付加価値を生み出す「地方イノベーション創生構想」を推進
- ・異なる分野の施策、人材、技術の「新結合」を図る取組を重点的に推進

#### ③ 人や企業の地方分散 ～産官学の地方移転、都市と地方の交流等による創生～

- ・過度な東京一極集中の課題に対応した人や企業の地方分散
- ・政府関係機関の地方移転
- ・関係人口をいかして都市と地方の人材交流を進め、地方への新たな人の流れを創出

<sup>1</sup> ステークホルダー：地方公共団体、民間企業、金融機関、住民等地方創生にかかわる多様な関係者を指す。

<sup>2</sup> イノベーション：新しい技術やアイデアを使って、これまでになかった価値を生み出すこと。

#### ④ 新時代のインフラ整備とA I・デジタルなどの新技術の徹底活用

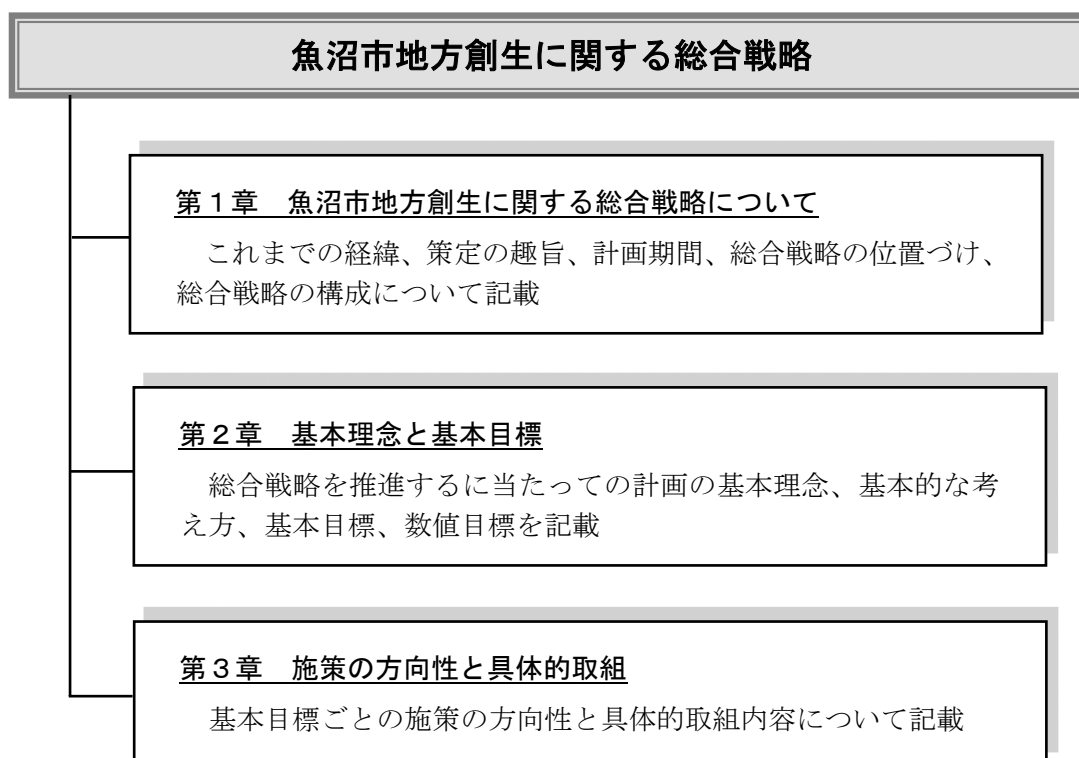
- ・ G X<sup>3</sup>・D X<sup>4</sup>を活用した産業構造に向け、ワット・ビット連携<sup>5</sup>などによる新時代のインフラ整備を面的に展開
- ・ A I・デジタルなどの新技術を活用し、ドローン配送などにより地方における社会課題の解決等を図り、誰もが豊かに暮らせる社会を実現

#### ⑤ 広域リージョン<sup>6</sup>連携

- ・ 都道府県域や市町村域を超えて、地方公共団体と企業や大学、研究機関等の多様な主体が広域的に連携し、地域経済の成長につながる施策を面的に展開

### 5. 魚沼市地方創生に関する総合戦略の構成

本戦略は、「第1章 魚沼市地方創生に関する総合戦略について」「第2章 基本理念と基本目標」「第3章 施策の方向性と具体的取組」の3章により構成します。



<sup>3</sup> G X : Green Transformation (グリーントランスフォーメーション) の略。化石燃料からクリーンエネルギーへ転換して脱炭素社会を目指す取組のこと。

<sup>4</sup> D X : Digital Transformation (デジタルトランスフォーメーション) の略。デジタル技術を活用して、ビジネスの構造や働き方を変革していく活動、経営戦略のこと。

<sup>5</sup> ワット・ビット連携 : 電力と通信の効果的な連携

<sup>6</sup> リージョン : 特定の地域や区域、広域的なまとまり

## 第2章 基本理念と基本目標

### 1. 基本理念

本戦略においては、「第三次魚沼市総合計画」に示す将来目指す姿である『ひとり一人の笑顔がかがやき、幸せを感じられる魚沼市』を基本理念とすることで、施策の整合性と一体性を確保し、地方創生の更なる推進を図ります。

〔 基本理念 〕

**ひとり一人の笑顔がかがやき、幸せを感じられる魚沼市**

### 2. 本戦略を推進するための基本的な考え方

現在、本市は人口減少と少子高齢化に直面しており、このままの状況が継続すると、地域経済の低迷やまちの活力低下のみならず、市民生活にも深刻な支障を来すおそれがあります。

このため、行政、市民、関係者等が危機感と問題意識を共有し、人口減少に歯止めをかけ、活力ある地域社会の維持・向上に向けて、総力を挙げて取り組んでいかなければなりません。

「魚沼市人口ビジョン【2026】」では、人口動向に関する日本社会全体の大きな流れの中で、本市が将来的に人口減少・超高齢化を迎えることは避けられないと考えられることから、人口が減少しても持続可能で元気なまちを目指すものとしています。

また、関東圏、新潟市や長岡市等の都市部へ向かう人々の流れによる市外への人口の流出や若者の結婚観の変化等による出生率の低下に対応していくため、暮らしやすさや働きやすさを高める取組も進めます。

こうした考え方に基づいて様々な施策を展開することにより、2035(令和17)年に26,000人、2060(令和42)年に15,400人の人口規模を目指しています。

そこで、本戦略では、人口減少が進む中であっても、稼げる強い地域経済を育み、安心して暮らし働ける豊かな生活環境を整えるとともに、若者や女性を始め誰もが選びたくなる新しく楽しい地域づくりを進め、将来にわたり希望を持って住み続けられるまちの実現に向けた施策を推進していきます。

### 3. 基本目標

地方創生 2.0 基本構想に示されている政策の5本柱を本市の状況に置き換え、本戦略の基本目標とします。

#### ～ 基本目標 ～

##### 〔 基本目標 1 〕

#### 安心して働き、暮らせる生活環境の創生

子育て支援や教育環境の充実、保健・医療・福祉の充実等により、安心して働き、楽しく暮らせる場所として、選ばれる魚沼市を目指します。

##### 〔 基本目標 2 〕

#### 稼ぐ力を高め、付加価値創出型の新しい経済の創生

農林産物のブランド化や地域産業の高付加価値化等を進め、稼ぐ力を高めることで、力強い地域経済の確立を目指します。

##### 〔 基本目標 3 〕

#### 人や企業の地方分散 ～都市との交流等による創生～

魚沼市の豊かな自然や住みやすさ、人の温かさ等の地域資源をいかし、移住・定住の促進や関係人口の創出・拡大を通じて、都市との交流が進む地域を目指します。

##### 〔 基本目標 4 〕

#### 新時代のインフラ整備とAI・デジタルなどの新技術の徹底活用による創生

様々な分野でのAI・デジタルなどの新技術の導入と活用を進め、便利で快適に暮らせるまちの実現を目指します。

##### 〔 基本目標 5 〕

#### 広域連携による創生 ～広域リージョン連携に向けて～

圏域を超えた連携の可能性を視野に入れ、企業や大学等の多様な主体との連携を通じて、産業振興や観光、インフラ整備等を広域にわたり展開する取組の実現を目指します。

#### 4. 数値目標

本戦略全体の進捗を総合的に把握するため、人口動態、出生動向、住民意識の三つの視点から以下の数値目標を設定します。

##### 数値目標 1：社会増減数（転入者数－転出者数）

現状値（R7）	目標値（R12）
▲222人／年	▲134人／年

地域の魅力を高め、若者に選ばれるまちづくりに向けて、移住・定住支援を進めるとともに、子育て・教育環境の充実や働きやすい環境づくり、地域産業の振興等を総合的に推進し、人口の社会減の抑制を目指します。

##### 数値目標 2：合計特殊出生率

現状値（R6）	目標値（R12）
1.20	1.44

安心して子育てできるまちづくりに向けて、妊娠・出産から子育てまで切れ目のない支援、教育環境の整備、柔軟な働き方の推進、医療・福祉の充実等を包括的に推進し、合計特殊出生率の向上を目指します。

##### 数値目標 3：市民アンケートにおいて「これからも魚沼市に住み続けたい」と回答した人の割合※

現状値（R5）	目標値（R12）
78.2%	90%

※市民アンケートにおける“これからも魚沼市に住み続けたいと思いますか。”の問いに対し、『ずっと住み続けたい』と『当分は住み続けたい』を足した割合

暮らしやすさを高め、地域の誇りを持てるまちづくりに向けて、子育て支援、働きやすい環境づくり、医療・福祉の充実、生活基盤の整備、移住促進等多角的な取組を進め、「これからも魚沼市に住み続けたい」と感じる市民の増加を目指します。

## 第3章 施策の方向性と具体的取組

### 1. 施策の体系

基本目標の達成に向けた、施策展開の方向性と具体的取組を以下に示します。

基本目標	方向性	具体的取組
1 安心して働き、 暮らせる生活環 境の創生	(1) 子育て・教育環境の充実	① 子育て環境の充実
		② 妊娠・出産・子育て支援の充実
		③ 教育環境の充実
	(2) 働き方改革の推進	① ワーク・ライフ・バランスの推進
		② 働きやすい環境づくり
		③ 新しい働き方の普及
	(3) 健康づくりと医療・福祉の 充実	① 生涯にわたる健康づくりの推進
		② 地域医療体制の充実
		③ 地域で支え合う福祉の充実
	(4) 安全・安心で快適に暮らせ るまちづくり	① 防災・防犯体制の強化
		② 生活基盤・公共インフラの整備
		③ コンパクトなまちづくり
2 稼ぐ力を高め、 付加価値創出型 の新しい経済の 創生	(1) 地域産業の振興と人材の育 成・確保	① 魚沼ブランド力の向上
		② 商工業の振興支援
		③ 持続可能な農林業の振興
		④ 観光戦略の展開
		⑤ 地域産業を支える人材の育成・確保
	(2) 安定した雇用の創出と地元 就労の促進	① 企業誘致の促進
		② 起業・創業のための支援
		③ 地元就労の促進
	(3) 持続可能な脱炭素社会の実 現	① 地域脱炭素の推進
		② 循環型社会の構築
③ 豊かな自然と身近な生活環境の保全		
3 人や企業の地方 分散 ～都市との交流等 による創生～	(1) 移住・定住の促進	① 移住・定住支援の推進
		② U・Iターンの促進
	(2) 地域資源をいかした交流拡 大	① 関係人口の創出・拡大
		② 交流人口の拡大

基本目標	方向性	具体的取組
4 新時代のインフラ整備とAI・デジタルなどの新技術の徹底活用による創生	(1) 暮らしや社会のデジタル化	① 各分野におけるデジタル技術の活用
		② 地域交通のオンデマンド化
		③ 行政サービスのデジタル化
5 広域連携による創生 ～広域リージョン連携に向けて～	(1) 広域連携の推進	① 広域医療の推進
		② 産学官や異業種連携の強化
		③ 広域行政の推進

※本体系は現時点での整理であり、状況に応じて適宜、見直しや追加を行います。

## 2. 評価指標の設定

基本目標の達成度を計るためのツールとして、重要業績評価指標(以下「KPI<sup>7</sup>」という。)を設定し、進行管理を行います。

KPIの設定に当たっては、本戦略と前期基本計画を一体的に進めるため、前期基本計画に掲げられている成果指標を用いて設定しています。

<sup>7</sup> KPI : Key Performance Indicator の略。重要業績評価指標と訳されており、目標達成の度合いを評価する指標

## 基本目標 1 安心して働き、暮らせる生活環境の創生

### (1) 子育て・教育環境の充実

一体的で切れ目のない子育て支援策の充実と子育て環境の整備・充実を進め、安心して妊娠・出産できる環境づくりを推進するとともに、多様な世代が健やかに学ぶことができる教育環境の充実を目指します。

#### 【具体的取組】

##### ① 子育て環境の充実

子育て期の各ステージに応じた支援を行うとともに、安全・安心な保育施設の整備や、ニーズに即した保育サービスの提供を行い、幼児期における教育・保育の環境と質の向上に取り組みます。

重要業績評価指数（KPI）	現状値（R6）	目標値（R12）
保育園・認定こども園に満足している人の割合	97%	98%
放課後児童クラブに満足している人の割合	95%	98%

##### ② 妊娠・出産・子育て支援の充実

妊娠期から出産、子育て期に至るまで、健診や訪問等の切れ目のない支援を継続するとともに、関係機関と連携し、相談支援や情報提供体制の強化を図ります。

重要業績評価指数（KPI）	現状値（R6）	目標値（R12）
産後1か月健診EPDS <sup>8</sup> 9点未満の割合	94.5%	95%
相談相手がいない人 【4か月児、1歳6か月児】	4か月児0人 1歳6か月児2人	4か月児0人 1歳6か月児0人

<sup>8</sup> EPDS：産後うつ病のスクリーニング（早期発見）を目的として開発された10項目の自己記入式質問票

### ③ 教育環境の充実

魅力的な学校づくりを進め、児童生徒ひとり一人に寄り添ったきめ細かな教育の推進や学校施設の整備・更新、コミュニティ・スクールの取組の充実を図ります。また、ライフステージに応じた学習機会の充実と、学びの成果を地域でいかす仕組みづくりに取り組みます。

重要業績評価指数（KPI）	現状値（R6）	目標値（R12）
「地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか」の問いに「当てはまる」と答えた児童生徒の割合	小 33.3% 中 36.1%	50%
各種行事、講座への参加者の人口に対する割合	3%	5%

### （２）働き方改革の推進

ワーク・ライフ・バランスを実現し、誰もが仕事と子育てや介護等を当たり前に両立できる働きやすい環境づくりを推進します。

#### 【具体的取組】

#### ① ワーク・ライフ・バランスの推進

子育てや介護等、人生の各段階に応じた多様で柔軟な働き方の普及に向けて、事業主と連携し、ワーク・ライフ・バランスの実現に向けた意識啓発に取り組みます。

#### ② 働きやすい環境づくり

働き方改革の取組を促進し、職場に対する従業員の満足度向上を図るため、企業の働き方改革に関する認定制度の取得支援に取り組みます。

重要業績評価指数（KPI）	現状値（R6）	目標値（R12）
「新潟県多様で柔軟な働き方・女性活躍実践企業認定制度」（旧：ハッピー・パートナー企業）の認定を受けた市内企業数	27社（累計）	40社（累計）

### ③ 新しい働き方の普及

時間や場所を有効に活用できる柔軟な働き方の実現に向けて、テレワーク<sup>9</sup>やワーケーション<sup>10</sup>等の多様な働き方の導入支援を行います。

### (3) 健康づくりと医療・福祉の充実

保健・医療・福祉の連携の下、生涯にわたる健康づくりや地域医療体制の充実を進め、地域共生社会の実現を推進することにより、誰もが健康で安心して暮らし続けられるまちづくりを推進します。

#### 【具体的取組】

#### ① 生涯にわたる健康づくりの推進

市民が生涯にわたって健康で生き生きと過ごせるよう、主体的に健康づくりを実践できる環境づくりや健康教育の充実、予防的な取組の推進、こころの健康づくり等に取り組みます。

重要業績評価指数（KPI）	現状値（R6）	目標値（R12）
特定健診受診者のうち、質問票で運動や食生活等の生活習慣を改善してみようと回答した人の割合	66%（R5）	70%（R11）

#### ② 地域医療体制の充実

市立小出病院を拠点とした地域包括ケアシステムの構築や「うおぬま・米ねっと<sup>11</sup>」の加入促進、小児医療の夜間・休日診療体制の強化、医療人材の確保・育成に取り組み、誰もが安心して暮らせる地域医療体制の整備・充実を図ります。

重要業績評価指数（KPI）	現状値（R6）	目標値（R12）
救急搬送時の患者の「うおぬま・米ねっと」の使用率	72%	75%
市立小出病院の常勤医師数	7人	9人

<sup>9</sup> テレワーク：Tele（離れた場所）とWork（働く）を組み合わせた造語。情報通信技術を活用した時間や場所を有効に活用できる柔軟な働き方。自宅で働く「在宅勤務」、本拠地以外の施設で働く「サテライトオフィス勤務」、移動中や出先で働く「モバイル勤務」がある。

<sup>10</sup> ワーケーション：Work（仕事）とVacation（休暇）を組み合わせた造語。テレワーク等を活用し、普段の職場や自宅とは異なる場所で仕事をしつつ、自分の時間も過ごすこと。

<sup>11</sup> うおぬま・米ねっと：新潟県の魚沼地域（十日町市、魚沼市、南魚沼市、湯沢町、津南町）で稼働している、医療介護連携ネットワークであり、米ねっとに加入申込みした患者情報を医療機関、調剤薬局、介護施設、救急隊等の間ですばやく共有し、より良い医療・介護サービスに役立てることを目的とする。

### ③ 地域で支え合う福祉の充実

地域における助け合いの下で全ての人が安心して暮らせるよう、日頃から顔の見える地域の関係づくりや地域住民・行政・関係機関が協働して、地域共生社会の実現に向けた取組を行うとともに、生活困窮者や日常生活上の困難を抱える人に向けた相談支援体制の強化を図ります。

重要業績評価指数（KPI）	現状値（R6）	目標値（R12）
民生委員・児童委員の相談対応件数	3,369件	4,000件
自立支援プランを作成し、継続的な支援を実施し自立できた割合	0%	30%

### （４）安全・安心で快適に暮らせるまちづくり

防災体制の強化や計画的な都市基盤の整備により、市民が安全・安心で快適に暮らせるまちづくりを推進します。

#### 【具体的取組】

#### ① 防災・防犯体制の強化

市民ひとり一人の防災意識の向上と共助体制の構築に取り組むとともに、災害時における情報伝達体制、避難支援体制の強化を図ります。また、巧妙化・複雑化する犯罪に市民が巻き込まれないよう、地域と関係機関が一体となった防犯活動を支援します。

重要業績評価指数（KPI）	現状値（R6）	目標値（R12）
地区避難計画を策定した自主防災組織数	4件（累計）	52件（累計）
詐欺被害額（年間総額）	7,495万円	0円

## ② 生活基盤・公共インフラの整備

安全で快適な道路ネットワークの形成や道路除雪体制の強化、公園緑地の適切な維持管理、計画的な上下水道施設の整備等、市民の暮らしを支える生活基盤や快適な居住空間の整備・充実を図ります。

重要業績評価指数（KPI）	現状値（R6）	目標値（R12）
市道改良計画における要望路線の改良実施率	35% (R3～R7 累計)	35% (R8～R12 累計)
安全に利用できる遊具の割合	75%	100%
老朽水道管の布設替延長	11,999m (R2～R6 累計)	10,000m (R8～R12 累計)

## ③ コンパクトなまちづくり

市の中心拠点に行政・文化・医療・商業等の都市機能の維持・誘導を図るとともに、中心拠点と地域拠点を結ぶ公共交通ネットワークの形成や災害リスクの周知等による防災・減災対策に取り組みます。

重要業績評価指数（KPI）	現状値（R6）	目標値（R12）
居住誘導区域内の人口密度	29.1 人/ha	27.5 人/ha

## 基本目標 2 稼ぐ力を高め、付加価値創出型の新しい経済の創生

### (1) 地域産業の振興と人材の育成・確保

魚沼市の豊かな地域資源のブランド化と発信強化により、地場産業の取引拡大を通じて稼ぐ力を高めるとともに、地域産業を支える人材の育成・確保を推進します。

#### 【具体的取組】

##### ① 魚沼ブランド力の向上

魚沼市産のこだわりをもった農産物や全国に誇れる市産品を「魚沼市プレミアム認定制度<sup>12)</sup>」や「魚沼ブランド推奨制度<sup>13)</sup>」として活用し、魚沼ブランドの認知度向上と販路拡大に取り組み、消費拡大を通じて地域経済の活性化を図ります。

重要業績評価指数 (KPI)	現状値 (R6)	目標値 (R12)
魚沼市プレミアム認定品及び魚沼ブランド推奨品の販売額向上割合	43.8%	55%
魚沼市プレミアム認定協議会HP閲覧数	10,235件	20,000件

##### ② 商工業の振興支援

市内企業の魅力発信や販路開拓、新製品・技術開発を支援するとともに、商店街のにぎわい創出に向けた取組を支援します。また、円滑な事業承継を支援し、次世代経営者の発掘や育成に取り組みます。

重要業績評価指数 (KPI)	現状値 (R6)	目標値 (R12)
後継者が不在の市内事業所の割合	53.1%	53.1%

<sup>12)</sup> 魚沼市プレミアム認定制度：魚沼市がもつ自然や歴史、文化等ここにしかない特性をいかしてつくられたものの中から特に優れたブランドを極みの逸品として認定し、発信していく取組

<sup>13)</sup> 魚沼ブランド推奨制度：観光協会、JA魚沼、魚沼地域振興局等関係機関からなる推奨委員会の定める一定の要件をクリアする農産物等について、生産者の申請に基づき推奨委員会で審査し、魚沼ブランド推奨品として決定する制度

### ③ 持続可能な農林業の振興

スマート農業の普及や農地の集積・集約を進め、効率化・省力化やコスト削減に取り組み、農業経営の安定化を図ります。また、地元産木材の木製品の販路拡大や製品開発を支援し、生産・販売量の拡大を図ります。

重要業績評価指数（KPI）	現状値（R6）	目標値（R12）
スマート農業機械による作業面積	146ha	650ha
地元産木材利用量	137 m <sup>3</sup>	166 m <sup>3</sup>

### ④ 観光戦略の展開

効果的な観光PRや観光イベント・行事の開催支援、インバウンド<sup>14</sup>も含めた観光客の受入環境等を整備し、観光来訪者数の増加及び観光消費額の増加を図ります。

重要業績評価指数（KPI）	現状値（R6）	目標値（R12）
年間宿泊数	182,978泊	195,000泊
宿泊客観光消費単価	26,799円	28,000円

### ⑤ 地域産業を支える人材の育成・確保

次世代の農林業従業者の育成・確保を図るとともに、企業における次世代経営者の発掘・育成や産学官の連携による高度な人材の育成、地域外からの人材確保に取り組み、地元企業への優秀な人材の確保を図ります。

重要業績評価指数（KPI）	現状値（R6）	目標値（R12）
新規就農者数	75人 (H28～R6累計)	110人 (H28～R12累計)
林業従事者総数	22人	30人
後継者が不在の市内事業所の割合（再掲）	53.1%	53.1%

<sup>14</sup> インバウンド：訪日旅行や訪日外国人を意味する。

## (2) 安定した雇用の創出と地元就労の促進

企業誘致や起業・創業支援等による安定した雇用の創出を促進するとともに、若者等の地元就労に向けた取組を推進します。

### 【具体的取組】

#### ① 企業誘致の促進

本市の地下水や交通利便性等の立地特性をセールスポイントにした企業誘致活動を促進し、新たな産業基盤の構築と雇用創出の拡大を図ります。

#### ② 起業・創業のための支援

起業・創業者を支援するため、商工会、金融機関等と連携した創業支援体制の整備に取り組むとともに、商店街における新規出店を促進し、地域における雇用の場の創出を図ります。

重要業績評価指数 (KPI)	現状値 (R6)	目標値 (R12)
小出地域のアーケード街における新規出店数	5件 (R2~R6 累計)	13件 (R2~R12 累計)

#### ③ 地元就労の促進

市内企業の魅力や市内情報の積極的な発信を行うとともに、ハローワーク等との連携による就業相談から採用までのサポートを展開するなど、地元就労に向けた支援体制の充実を図ります。

重要業績評価指数 (KPI)	現状値 (R6)	目標値 (R12)
企業と求職者のマッチングイベントをきっかけに地元就労につながった人数	—	30人 (累計)

### (3) 持続可能な脱炭素社会の実現

省エネルギーの推進及び再生可能エネルギーの導入促進による脱炭素社会の実現を目指すとともに、持続可能な循環型社会の構築と豊かな自然環境の保全を推進します。

#### 【具体的取組】

##### ① 地域脱炭素の推進

住宅や事業所への再生可能エネルギーの利用促進を図るとともに、市有施設の改築・新築時における再生可能エネルギー設備や高効率設備の積極的な導入に取り組みます。

重要業績評価指数 (KPI)	現状値 (R6)	目標値 (R12)
市の事務事業における温室効果ガス排出量	15,037 t	10,814 t
再生可能エネルギー機器の設置に伴う温室効果ガス削減量	228 t (R元～R6 累計)	470 t (R元～R12 累計)

##### ② 循環型社会の構築

限りある資源の効率的活用やリサイクルを通じた資源循環の推進及び環境負荷の低減に取り組みます。また、環境保全と経済発展の両立を図るため、市内事業者の循環経済<sup>15</sup>の転換支援に取り組みます。

重要業績評価指数 (KPI)	現状値 (R6)	目標値 (R12)
市民一人一日当たりのごみ排出量	1,042 g	970 g
リサイクル率	17.9%	21.5%

##### ③ 豊かな自然と身近な生活環境の保全

豊かで多様な動植物が生息・生育できる環境の保全・整備や市民の自然環境保全に対する意識向上に取り組むとともに、市民との協働によるごみのない清潔なまちづくりと美しい景観の保全を図ります。

重要業績評価指数 (KPI)	現状値 (R6)	目標値 (R12)
不法投棄物処理量	2.4 t	2.0 t

<sup>15</sup> 経済循環：資源を循環利用し続けながら、新たな付加価値を生み出し続けようとする経済社会システム

## 基本目標 3 人や企業の地方分散 ～都市との交流等による創生～

### (1) 移住・定住の促進

移住希望者に向けた効果的な情報発信を始め、居住環境整備や子育て・就労等の支援体制の充実により、市外からの移住・定住と若者のU・Iターンを促進します。

#### 【具体的取組】

##### ① 移住・定住支援の推進

情報発信の強化や住みよい居住環境の整備に取り組みます。あわせて、移住相談体制の整備やお試し住宅を活用した移住体験機会の提供、移住後の相談・サポート体制の充実を図ります。

##### ② U・Iターンの促進

市内情報や市内企業の魅力を様々な機会を通して積極的に発信するとともに、若者の地元定着と市外からの人材確保を図ります。あわせて、多様な担い手の確保につながる魅力発信を行い、関係人口の創出・拡大に向けた仕組みづくりに取り組みます。

重要業績評価指数（KPI）	現状値（R6）	目標値（R12）
企業と求職者のマッチングイベントをきっかけに地元就労につながった人数	—	30人（累計）

### (2) 地域資源をいかした交流拡大

継続的に多様なかたちで本市の住民や地域と関わる関係人口の創出・拡大を図るとともに、体験型観光の充実等による交流人口の拡大を推進します。

#### 【具体的取組】

##### ① 関係人口の創出・拡大

農業体験等の関係性を深める事業の展開により、二地域居住<sup>16</sup>やワーケーション等の多様な生活拠点の受入体制の整備に取り組みます。あわせて、関わりを持った人々が継続的に地域とつながり続けられるよう、地域活動へ参加できる仕組みづくりに取り組みます。

<sup>16</sup> 二地域居住：主な生活拠点とは別の地域に生活拠点を設ける暮らし方のこと。

## ② 交流人口の拡大

---

首都圏を中心とした教育旅行の受入支援の強化に取り組むとともに、ニーズに合わせた体験メニューの充実を図り、観光・体験ガイドの育成支援に取り組めます。

重要業績評価指数（KPI）	現状値（R6）	目標値（R12）
年間宿泊数（再掲）	182,978泊	195,000泊

## 基本目標 4 新時代のインフラ整備とAI・デジタルなどの新技術の徹底活用による創生

### (1) 暮らしや社会のデジタル化

少子高齢化や人口減少等様々な課題に直面する中で、様々な分野でデジタル技術を活用し、持続可能で活力ある地域社会の実現を目指します。

#### 【具体的取組】

##### ① 各分野におけるデジタル技術の活用

教育分野におけるICT環境を活用した授業支援を始め、農業分野におけるスマート農業<sup>17</sup>やICTを活用した有害鳥獣捕獲対策の推進、テレワーク等の新しい働き方の普及など、各分野におけるデジタル技術の活用に取り組みます。

重要業績評価指数 (KPI)	現状値 (R6)	目標値 (R12)
スマート農業機械による作業面積	146ha	650ha

##### ② 地域交通のオンデマンド化

新たな公共交通サービスとして、AIオンデマンド交通「のるーと魚沼」<sup>18</sup>の本格運行を開始し、乗合タクシー利用者の利便性向上を図ります。

重要業績評価指数 (KPI)	現状値 (R6)	目標値 (R12)
市民一人当たりの乗合タクシー等利用回数	0.98回	1.1回

##### ③ 行政サービスのデジタル化

手続きのオンライン化や業務の自動化等、行政サービスの更なるデジタル化に取り組み、行政運営の効率化と市民サービスの向上を図ります。

<sup>17</sup> スマート農業：ロボット技術やICT等の先端技術を活用し、超省力化や高品質生産等を可能にする新たな農業

<sup>18</sup> AIオンデマンド交通「のるーと魚沼」：AI（人工知能）が予約状況に応じて運行ルートを考えながら走る乗合タクシー

## 基本目標5 広域連携による創生 ～広域リージョン連携に向けて～

### (1) 広域連携の推進

広域リージョン連携を視野に入れ、近隣自治体や産学官等との広域的な連携を強化し、協働による取組を推進します。

#### 【具体的取組】

##### ① 広域医療の推進

妊娠、出産から産後の子育てまで安心できる小児・母子医療体制を構築するため、近隣自治体や関係機関と連携し、広域医療体制の充実を図ります。

##### ② 産学官や異業種連携の強化

付加価値の高い産業の創出や高度な人材の育成につなげるため、産学官や異業種との連携強化に取り組めます。

重要業績評価指数（KPI）	現状値（R6）	目標値（R12）
市内事業所の業況判断BSI <sup>19</sup>	-31.7%ポイント	-25.0%ポイント

##### ③ 広域行政の推進

行財政効率の向上と様々な分野における困難事案や広域的な課題を解決に向けて、近隣自治体との連携強化を図ります。

重要業績評価指数（KPI）	現状値（R6）	目標値（R12）
救急搬送時の患者の「うおぬま・米ねっと」使用率（再掲）	72%	75%

<sup>19</sup> 業況判断BSI：企業の業況を示す指標で、「良い」と回答した企業の割合から「悪い」と回答した割合を差し引いて算出される指数。プラスは改善傾向、マイナスは悪化傾向を示す。

《参考》 第三次魚沼市総合計画前期基本計画との関連－1

基本目標	方向性	具体的取組	総合計画前期基本計画施策との関連
1 安心して働き、 暮らせる生活環 境の創生	(1)子育て・教育 環境の充実	① 子育て環境の充実	1－(1)－① 1－(1)－②
		② 妊娠・出産・子育て支援の充実	1－(1)－③ まちづくりの土台 郷土愛・魚沼への愛着
		③ 教育環境の充実	1－(2)－① 1－(2)－② 1－(2)－③ 1－(3)－① 1－(3)－② まちづくりの土台 市民参画・市民協働 人権啓発
	(2)働き方改革 の推進	① ワーク・ライフ・バランスの推 進	4－(5)－①
		② 働きやすい環境づくり	4－(5)－① まちづくりの土台 人権啓発
		③ 新しい働き方の普及	4－(5)－②
	(3)健康づくり と医療・福祉の 充実	① 生涯にわたる健康づくりの推進	2－(4)－① 2－(4)－②
		② 地域医療体制の充実	2－(5)－① 2－(5)－② 2－(5)－③
		③ 地域で支え合う福祉の充実	2－(1)－①
			2－(1)－②
			2－(2)－①
			2－(2)－②
	2－(3)－①		
	2－(3)－②		
	2－(3)－③		
	2－(3)－④		
(4)安全・安心で 快適に暮らせる まちづくり	① 防災・防犯体制の強化	3－(1)－① 3－(1)－②	
	② 生活基盤・公共インフラの整備	3－(2)－①	
		3－(2)－②	
		3－(3)－②	
		3－(3)－③	
		3－(4)－①	
3－(5)－①			
3－(5)－②			
③ コンパクトなまちづくり	3－(3)－① 4－(3)－②		

《参考》 第三次魚沼市総合計画前期基本計画との関連－２

基本目標	方向性	具体的取組	総合計画前期基本計画施策との関連	
2 稼ぐ力を高め、 付加価値創出型 の新しい経済の 創生	(1) 地域産業の 振興と人材の育 成・確保	① 魚沼ブランド力の向上	4－(1)－② 4－(3)－①	
		② 商工業の振興支援	4－(3)－① 4－(3)－②	
		③ 持続可能な農林業の振興	4－(1)－① 4－(1)－② 4－(2)－②	
		④ 観光戦略の展開	4－(4)－① 4－(4)－②	
		⑤ 地域産業を支える人材の育成・ 確保	4－(1)－① 4－(2)－② 4－(3)－①	
	(2) 安定した雇 用の創出と地元 就労の促進	① 企業誘致の促進	4－(3)－③ 4－(5)－②	
		② 起業・創業のための支援	4－(3)－② 4－(3)－③ 4－(5)－②	
		③ 地元就労の促進	4－(5)－③	
	(3) 持続可能な 脱炭素社会の実 現	① 地域脱炭素の推進	3－(6)－③	
		② 循環型社会の構築	3－(6)－②	
		③ 豊かな自然と身近な生活環境の 保全	3－(6)－① 3－(6)－④	
	3 人や企業の地方 分散 ～都市との交流等 による創生～	(1) 移住・定住の 促進	① 移住・定住支援の推進	まちづくりの土台 郷土愛・魚沼への愛着
			② U・Iターンの促進	4－(1)－① 4－(5)－③ まちづくりの土台 郷土愛・魚沼への愛着
(2) 地域資源を いかした交流拡 大		① 関係人口の創出・拡大	まちづくりの土台 郷土愛・魚沼への愛着	
		② 交流人口の拡大	4－(4)－③	
4 新時代のインフ ラ整備とAI・ デジタルなどの 新技術の徹底活 用による創生	(1) 暮らしや社会 のデジタル化	① 各分野におけるデジタル技術の 活用	1－(2)－① 4－(1)－① 4－(1)－③ 4－(5)－②	
		② 地域交通のオンデマンド化	3－(4)－①	
		③ 行政サービスのデジタル化	まちづくりの土台 行財政運営	
5 広域連携による 創生 ～広域リージョン 連携に向けて～	(1) 広域連携の 推進	① 広域医療の推進	2－(5)－②	
		② 産学官や異業種連携の強化	4－(3)－①	
		③ 広域行政の推進	2－(5)－① まちづくりの土台 行財政運営	

---

# 魚沼市地方創生に関する総合戦略

令和8年3月 策定

魚沼市総務政策部企画政策課

〒946-8601 新潟県魚沼市小出島 910 番地

TEL 025-792-1425

FAX 025-792-9500

ホームページ <https://www.city.uonuma.lg.jp>

---



魚沼市



魚沼市公式キャラクター  
うおぬまっち